

子どものやる気にスイッチ・オン！

教材活用シリーズ 第112回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果を得られるポイント（場面・方法）などを紹介します。

(株)日本標準
『ユニット楽習
スイッチ・オン！』
(1～6年/年間/標準版)



(株)日本標準
企画編集部

1. はじめに

『ユニット楽習（がくしゅう） スイッチ・オン！国語』は、タイプが異なるAとBの二つの内容を見開きで提出した、まったく新しい教材です。「学」習ではなく「楽」習となっているのは、「楽」しく学「習」できる教材だからです。漢字ドリルのように漢字の書き順などは出ていないし、一般的な国語の学習教材にあるような文章問題も入っていないのですが、やってみると「やる気」のスイッチが入り、夢中になってやっているうちにいつの間にか学力がどんどん伸びていく教材です。

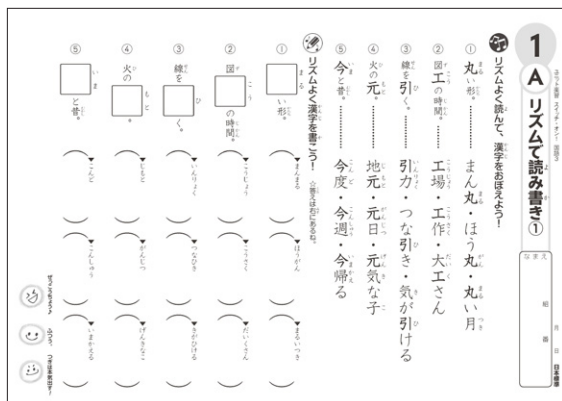
2. リズムで読み書き

Aは、主に漢字をリズムよく読んだり書いたりするページになっています。紙面の右半分は漢字や熟語を読み、左半分で読んだ漢字や熟語を書きます。熟語は音読みと訓読みの両方の読み方で語呂が合うように提出してあります。そのため、リズムをとってテンポよく読めるようになっています。ゆっくり読んだり早く読んだり、ひとりで読んだり友達と読んだり、いろいろなパターンで何度も読むことにより、スムーズに読めるようになり、熟語を覚えることができます。

リズムよく読んだ後は、読んだ熟語の「書き」に挑戦です。漢字を書くときに右側に読んだ漢字が見えていますが、書けない子どもは見ながら書いてよいのです。自信のある子どもは見ないで書きます。何度も音読した漢字や熟語を「書くこと」で、より記憶に残りやすくなります。

基本的に前学年までに習った漢字を中心に扱っているので、教科書での学習進度を気にせずに取り組むことができます。未習の漢字が熟語に使われている場合もありますが、もし書けなくても、その漢字を新出漢字として習う前に読めるようにしておくことができます。

他にも有名な詩や俳句、古典文学などを音読するページや、「リズムで読み書き」のページに登場した熟語を50問集めた「リズム音読50連発」(『スイッチ・オン！国語1』は30連発)のページ、時間を計りながら漢字をたくさん書く「漢字50連発」(1は30連発)のページなどもあり、「音読」と「書くこと」の二通りの作業を

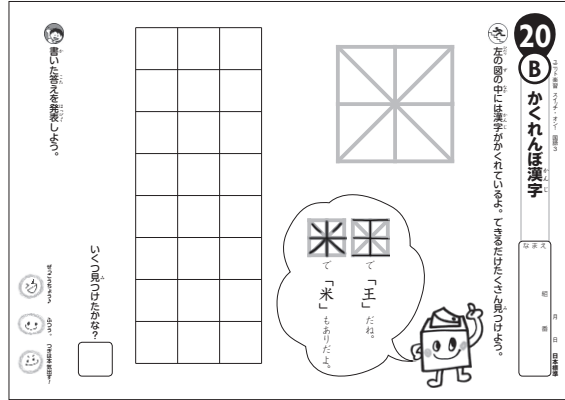


することで、漢字の定着を図り、語彙力を高めることができます。

3. 多彩な問題でスイッチ・オン!

Bは、漢字や言葉に関する多彩な問題が載っていて、たくさん「書く」ページになっています。クイズやパズルをする感覚で取り組めるため、やればやるほど夢中になり、もつとやりたくなること間違いなしです。

例えば、たし算やかけ算などをしてできる漢字を答える問題や、線を組み合わせてできた形(「田」などの形)のなかに隠れているかたかなや漢字をたくさん答える問題があります。また、提示された条件(「季節を表す言葉」や「動きを表す言葉」など)に合った言葉をたくさん書いたり、反対の意味の言葉をたくさん書いたりする問題もあります。Bの最終ページにある「ぐるぐる漢字」は、紙面をぐるぐる回しながら答えを書いていく、遊び感覚でできる問題です。

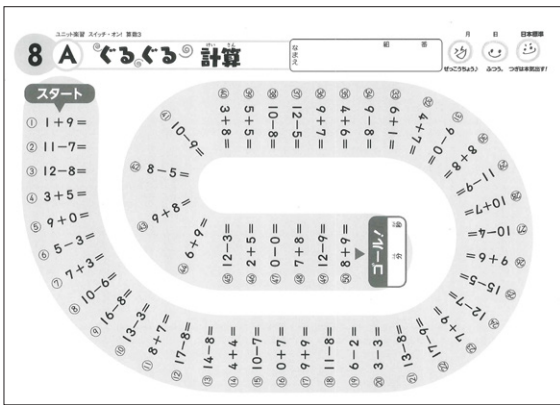


いろいろな答えが考えられる問題が多いため、答えをたくさん書いていくうちにイメージ力や表現力を高めることができます。もしわからなくても、ほとんどのページに例やヒントがありますし、辞書などで調べながら書いても構いません。「書くこと」や「自主的に調べること」の積み重ねが、学力を伸ばすことにつながっていくのです。

4. 算数でもスイッチ・オン!

国語のほかに、『ユニット楽習 スイッチ・オン!算数』も発行しています。算数も国語と同じで、タイプの異なるAとBの二つの内容を見開きで提出していきます。

Aは、主に時間を計ってスピードに挑戦する計算のページになっています。ひき算の問題のなかにたし算が紛れていたり、紙面をぐるぐる回しながら計算したりする問題など、さまざまなパターン



の問題で計算力と集中力を高めることができます。

ます。

また、B

は、さまざまな形式の問題に挑戦するページになっています。先生になったつもりでテストの丸つけをする問題や、問題文のなかから必要な情報を選んで解く問題など、多面的に考えて問題を解くことで、イメージ力や表現力を高めることができます。

5. おわりに

『ユニット楽習 スイッチ・オン!』は、先述のようにAとBの異なる内容で提出されています。Aは一ページ五分程度、Bは一ページ十五分前後の短時間でできるため、朝学習や授業の初め、帯時間などのさまざまな場面でいつでも実施することができます。また、児童用に別冊で縮刷解答が付いているので、子どもたちだけでも答え合わせをすることができます。教科書で学習するのはひと味違う内容に、子どもたちがわくわくしながら取り組むこと必至です。

